



第72号



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION



2018.1

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL：088-656-3303

年頭のご挨拶



公益財団法人徳島県国際交流協会
理事長 黒石 康夫

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます。

今年は「いぬ年」、干支では、「戊戌（つちのえいぬ）」とされており、変化が訪れる年であるそうです。

当協会は、平成2年に本県の中核的国際交流団体として発足し、本年で28年目となります。これまで、県民の皆様を始め、関係各機関・団体の御支援、御協力によって運営を進めて参りましたが、あと2年余りで設立30周年を迎えることになります。当協会の「次の30年」を見据えて、準備を怠ることなく、本年が協会の飛躍の年となりますよう、職員一同、取り組んで参る所存でございます。

さて、昨年度の訪日外国人観光客は、約2,800万人と見込まれており、アジア諸国を中心に、外国人観光客が急増しております。政府は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年（平成32年）には、「4,000万人」を目標として、更なる訪日外国人の増加に取り組んでおり、徳島県においても、本県を訪れる外国人観光客に対するインバウンド対策に力を入れているところでございます。当協会におきましても、国や県の施策と連動し、外国人の方への情報提供や生活相談に応じるとともに、県民の皆様にも外国人に対する理解を深めていただくための「国際理解支援フォーラム」の開催、「通訳ボランティア」の派遣、在住外国人の方を対象とした初級の「日本語教室」の開催など、鋭意、事業を実施して参りました。

昨年は、世界平和と豊かな地域づくりに貢献するため、外国人と共に踊る阿波おどり「あらそわ連」の活動において、地域の関係機関・団体等の御協力を新たにいただき、「あらそわ連実行委員会」を開催いたしました。その中で、有名連である「のんき連」さんに御協力をいただき、在住外国人の方が本格的に練習を積み、徳島の伝統文化である「阿波おどり」を本格的に学ぶ外国人の様子を県内外に情報発信いたしました。

また、地域で外国人が増加している状況を踏まえ、外国人との交流、外国人に対する理解や支援を充実させるため、徳島県と市町村の国際交流協会を構成する「徳島県・市町村国際交流協会連絡協議会」を発足し、共通する事業の情報交換や運営の課題を協議し、連携して地域の国際化に取り組むことといたしました。

更に、当協会の機関誌をはじめ、英語・中国語で徳島の情報をお伝えする月刊誌「awa life」、「阿波生活」の内容を見直し、カラー版を発行するなど、有益な情報提供に努めたところであります。

今後も、新たな事業の実施や既存事業の見直しを行い、地域の国際化の旗振り役として、その存在意義を一層、高めて参りたいと考えておりますので、引き続き、当協会への御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、本年が皆様方にとりまして、幸多き年であることを御祈念申し上げまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

徳島県・市町村国際交流協会連絡協議会が発足しました！



平成29年12月18日(月)に、公益財団法人徳島県国際交流協会において、「徳島県・市町村国際交流協会連絡協議会」の設立総会・平成29年度第1回総会が開催されました。この協議会には、(公財)徳島県国際交流協会や一般社団法人徳島市国際交流協会をはじめ、県下15の市町村国際交流協会・団体が参加しました。

設立の目的は、近年、アジア諸国を中心に、地域で生活する外国人が増加していること、また、外国人訪問客も年々、増加していること、更に、本県は、南海トラフ巨大地震の発生が想定されていることなどから、外国人に対する交流を促進し、外国人への理解や支援を充実させるため、地域の国際交流協会・団体が連携・協力して、活動することとなりました。

会議では、地域の国際化の推進に御尽力をいただいている、一般財団法人自治体国際化協会・多文化共生部長の横田宗親氏を始め、独立行政法人国際協力機構・四国支部長の高橋政俊氏、徳島県商工労働観光部国際課長の戸川美史氏をオブザーバーとしてお招きして、国や県レベルの国際化施策や事業の実施状況をご報告いただきました。また、各参加団体から、活動状況が報告され、今後、共通する事業の情報交換や運営の課題を協議しながら、国際化に関するイベントや研修、災害対応訓練での連携・協力を検討することとなりました。

この連絡協議会の発足により、地域の国際交流協会・団体が連携・協力して、地域の国際化のみならず、外国人に対する安心・安全に貢献できるよう、その活動を広げて参ります。



災害時ボランティア通訳研修参加者募集中！

徳島県では、今後30年以内に70%程度の確率で、南海トラフ地震の発生が予想されております。徳島県に暮らす外国人は、約80カ国5,500人程度で、増加傾向にあり、その国籍も多岐にわたっています。大地震などで大規模災害が発生した場合、避難所では様々な情報が提供されますが、外国人は、言葉の壁により、適切な情報を得られないことがあり、このことが強いストレスや不安の原因となることが予想されます。また一方で、災害時には救護所等が設置され、医療通訳を必要とする場面が増加すると考えられます。これらの状況に対応するため、災害時ボランティア通訳研修を行います。講師の講話、そしてワークショップを通じて色々な場面において多言語で情報提供を円滑に提供できるよう、一緒に学びませんか。

※語学研修ではありません。



講師：八木 浩光 氏

(一般財団法人熊本市国際交流振興事業団事務局長)

日時：2月18日(日) 13時～16時30分

開催場所：(公財)徳島県国際交流協会

参加料：無料

内容：講演・ワークショップ

お申し込み：

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61

クレメントプラザ 6 階

公益財団法人 徳島県国際交流協会

「災害時ボランティア通訳研修」担当宛

TEL:088-656-3303 FAX:088-652-0616

Email: coordinator1@topia.ne.jp (木村)

※2月9日(金)までに氏名、住所、電話番号、Email、言語(英語、中国語等)を記載の上お申し込み下さい。

※携帯電話キャリアメールは届かない場合がございますので、電話でのお申し込みをお願い致します。

ホームステイ・ホームビジット事業

当協会では徳島県地域留学生交流推進協議会との共催で、徳島県内の留学生とそのご家族を対象に、ホームステイ・ホームビジットを実施しています。今年度は平成29年11月11日（土）から12月9日（土）間に、留学生10名がホストファミリーの方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。

ホストファミリーからの感想

- 外国の生活の様子など知ることが出来たので、大変良かった。
- ベトナムの生活や食べ物・福祉について沢山教えてくださいました。また、夕食にはベトナムの食事を一緒に作って食べることができ、大変楽しかったです。彼女も私も料理好きなので、「市」で沢山の食材を購入するのも良かったです。
- 一緒に時間を過ごし、親しくなることで、遠い国を身近に感じる事が出来ます。今回は「もちつき」という私たちのイベントに参加してもらい、私たち家族が集まる良い機会にもなりました。
- 分からない言葉は、単語や画像を調べてお互いに確認しました。日本語を沢山しゃべろうとしているのが分かりました。

留学生からの感想（原文ママ）

- ホストファミリーと一緒に渦潮やお寺に参拝に行って、お店で食事をしました。美味しいうどんとお寿司を食べました。皆さんと色々な話をしました。2日間で色々ことが勉強出来ました。
- 一番嬉しかったのは餅つきです。日本人にとっても、それは珍しい経験だと聞いたことがあるので嬉しかったです。そして、餅つきをした家は百年以上の住宅で、日本の伝統的な習慣を学びました。また、日本式な鍋料理を食べて楽しかったです。
- ホームステイ先の家族には二人のお子さんがいました。6歳の女の子と9歳の男の子です。お兄さんがすごく頼りになりました。子ども達とサッカーをしたり、剣玉をやりました。久しぶりの遊び、楽しかったです。
- ホストファミリーのお母さんとお父さんが中国についてよく知っていました。中国に行ったこともありますので、話がすごくうまくできました。中日についていろいろ話しましたし、いい経験になりました。特に、お父さんは中国語が上手なので、交流がよりよくできました。
- みかん畑に連れて行ってもらって、みかん採り体験をしてもらいました。「これから、みかんはどんどん美味しくなるでしょう」とホストファミリーのお父さんが言いました。ホストファミリーのお母さんが作った料理はとても美味しかったです。和食はヘルシーですし、四季を感じさせる椎茸や柿などがありました。パンももちもちで、一日が幸せになる朝ごはんでした。日本に来て、一番素敵な思い出を作りました。

つきたてのお餅は柔らかい！



何かいるかな？



初めての
みかん狩り！

徳島県国際交流協会では、日本語教室の取り組みの一つとして「やさしい日本語での落語会」を8月20日に、また、日本語支援者育成の取り組みの一つとして「日本語指導ボランティアスキルアップ講座」を12月2日に開催しました。いずれも、文化庁の「徳島で暮らす外国人のための日本語教育事業」の一環として実施したものです。通常の日本語教室以外にも、在住外国人の方への日本語支援を様々な側面から行っておりますので、その一部をご紹介します。

やさしい日本語での落語会

徳島県国際交流員
張 楠

徳島県国際交流協会が日本語教室の一環として8月20日、落語家の桂七福さんを招いて落語を一席打ってもらうことを知り、実際に見たことのなかった私はとても感激し興奮しました。今回の演目は『時うどん』です。日本語で話すので、私は笑いのポイントが聞き取れるか、理解できるか、とても心配でした。

当日会場に入ると、既に観客がいっぱいで、日本人以外にも、皮膚の色や国籍の違う外国人がたくさんいました。まずは、日本語教師の三好先生と桂七福さんが、落語の歴史や所作、今回の演目の背景について簡単に説明してくれました。

落語が始まると、七福さんはとてもやさしい日本語で生き生きとした様相にユニークな身振り手振りを交え、江戸時代の二人の男がうどん屋で支払いする時の様子を話していきました。みんなを大笑いさせたのは、七福さんのうどんを食べる時の生き生きとした描写です。汁を吸って、うどんをフウフウしてズルズルと吸って、最後食べ終わるまでの動作や表情、ディテールが、会場にいた人たちに臨場感を与え、さらに、二人がうどんを食べる時の動作と心理の比較によって、話のテンポがますます良くなり、筋が分かりやすく、ユーモラスなものになっていきました。

落語の中には作者の情熱とインスピレーション、当時の社会の風習や生活の息吹が詰まっています。落語家の独自の工夫を凝らした表現の下、外国人を含む観客全員が日本の伝統芸能の精髓と魅力を深く感じたひとときでした。



日本語指導ボランティアスキルアップ講座

12月2日(土)、13時から徳島県国際交流協会会議室にて、嶋田和子先生（アクラス代表理事）をお招きし、学習者が「話したくなる・学びたくなる教室」をめざして ～生活の中から教室活動のタネを見つけよう～ と題して、3時間半の講座を開催しました。

この講座は「もっと生きた日本語を学びたい!」という学習者の声に応えるため実生活にリンクした教室活動、および、学習者が「自分のこと・自分の考えを語る楽しさ」を実感できる活動方法について学び、日本語支援者のスキルをはかるというものです。

嶋田先生から、長年の日本語指導の中で培われた様々な手法を提示していただき、日本語支援者は、ワークショップを通して、実践的な活動にトライしました。

嶋田先生のお元気でテンポのあるお話しの仕方や、瞬時に受講者のニーズをとらえて柔軟に講座をすすめて行く手法など、講座の内容とあわせて、授業の醍醐味を勉強させていただきました。お一人おひとりの日本語支援の活動に、何かの種が蒔かれたことでしょう。



職場体験



当協会では、国際交流や国際理解に関心を持つ県内の中学生、高校生及び大学生の職場体験を受け入れています。当協会の国際交流員や窓口相談員、JICAの国際協力推進員などから国際交流・協力について学ぶとともに、外国人のための日本語教室への参加や外国人観光客への案内などを通じて、外国人の方と実際にコミュニケーションを図る体験をしてもらっています。

職場体験をした生徒の皆さんの感想から、その一部を紹介します。

城東中学校 2年生

国際理解学習では、米国・ドイツ・中国の3つの国についてプレゼンテーションをして頂き、日本とは異なる文化をよく知ることができました。ハワイの青い海、ドイツの美味しそうなスイーツ、中国の交通情報など、どの国も魅力的で、それぞれの国にとっても行きたくなりました。質問にも答えていただき、より詳しく文化を学ぶことができました。日本語教室の参加も、とても新鮮でした。外国語を使いこなすだけではなく、日本語への理解が必要であることが分かりました。TOPIAについての説明も、聞いていておもしろかったです。外国人観光客の方への対応も、最初は不安でしたが、言葉が伝わるととても楽しくなりました。JICAについての説明も聞いていて、すごく興味が湧きました。皆さんがそれぞれの分野について話されている時、とてもいきいきしているように感じました。自分でも新しい挑戦・発見をどんどんして、夢に向かっていきたいです。

城ノ内中学校 3年生

私は、TOPIAで職業体験をして働くことの大切さや楽しさを学びました。TOPIAには、観光に来た人や日本語を勉強しに来た人など様々な理由で困っている外国の方が来ます。その人達のために、一生懸命相談にのったり、日本語教室の間は子供たちの面倒を見たりと沢山のサポートがありました。問題が解決して困っていた人たちが笑顔で「ありがとう」と言ってくれたとき、本当に嬉しくなりました。人のために働くことは本当に素晴らしいことだと実感しました。また、働くためには沢山の正しい知識を持つことが大切だということも学びました。私は今回の職業体験で、徳島には沢山の魅力があるのにその魅力が全く分かっていなかったと気付きました。これからは、徳島についてはもちろん、世界の国のことやJICAについてももっと知っていくために、新聞やニュースを見たり、興味深い講演会に積極的に参加したりしたいと思います。



The Tokushima
AJET Musical

徳シング：徳島にはタレントがあるぞ

バスター・ムーンという常に楽観的なコアラは自分の劇場を助けるために深刻なミッションを背負っています。最後のチャンスとして徳島で最大のタレントがある歌手を探す目標で歌のオーディション大会を行います。大会の参加者は賞金を得るために情熱的に頑張ります。参加者の中で誰が一番シングできるのか？ぜひこの壮大な劇にお越しください！

公演日程

3月 4日 (日) 15:00~17:00	石井中央公民館
3月10日 (土) 15:00~17:00	北島町立図書館・創世ホール
3月11日 (日) 14:00~16:00	美波町コミュニティホール
3月18日 (日) 14:00~16:00	勝浦町農村環境改善センター
3月24日 (土) 17:00~19:00	協町劇場・オデオン座

主催：AJET徳島

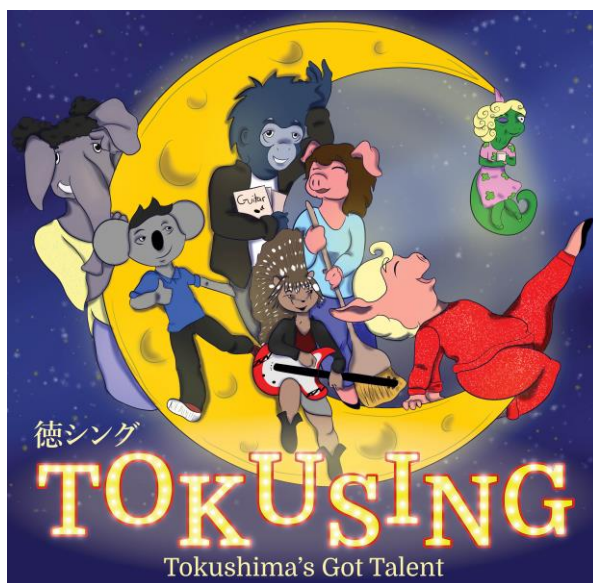
問合せ：

(公財) 徳島県国際交流協会
TEL 088-656-3303

詳細：

www.ajetmusical.com

www.facebook.com/AJETMusical



～県内国際交流団体活動紹介～

『伝えよう日本語を 広げよう徳島から』…つながりの中で歩んだ20年

JTMとくしま日本語ネットワーク
会長 兼松 文子

1997年6月、外国人に日本語を教えるための勉強会「JTM（日本語教授法）研究会」として発足した当会は、おかげさまで昨年、20周年の節目を迎えることができました。

発足当時、県内には約2,500人の外国人が暮らしていました。2002年には4,996人とわずか5年で倍増しました。その後、2004年の5,911人をピークに現在まで5,000人前後で推移しています。

増え続ける外国人の状況に呼応するように、私たちの活動にも進展が見られました。1999年には、オリジナルテキスト「こんにちはとくしま」発行をきっかけにテキストの教え方講座を開催し、現在の中心メンバーの多くが受講し仲間となりました。2001年、「伝えよう日本語を 広げよう徳島から」を理念に掲げ「JTMとくしま日本語ネットワーク」と改称してからは、「日本語サロン」や「夏休み子ども日本語教室」、「俳句交流会」などボランティア活動にも広がりを見せていきました。2003年に教師グループを結成してからは、研修の充実をはかり技術研修生の日本語研修や地域の日本語教室での指導に専門性を高めていきました。

2005年に代表を引き継いだ直後に傍聴した徳島県国際交流協会（以下 TOPIA）の日本語弁論大会で、「言葉を学び働くチャンスを得て自分の能力を発揮し、家族や日本社会の役に立ちたい」と日本語教育の充実を訴えた日本人配偶者の発表に衝撃を受けたことは、大きな転換点となりました。「外国の人たちの思いをどれだけ理解しているだろうか」…。先入観を捨てて臨んだ意識調査や意見交換会で、長く日本で暮らす人のほうが悩みを抱えていると知り、人は「つながり」のなかでこそ、自分を生かしたいと思えるのだと気づいたことは、「外国の人たちと共に生きていくと実感しあえる地域社会の実現」をめざして日本語教育の可能性に挑むのだというJTMの方向性を揺るぎないものにしました。

2006年に開講した「中級日本語教室」や2009年に開設した「にほんご寺子屋」、2010年から毎年3月に開催する「お国自慢とポットラックパーティー」、文化庁委託事業「日本語指導者養成講座」や保護者向けテキスト「子どもと暮らすためのこんにちはとくしま」作成と「保護者のための日本語教室」開催、就職に有利な資格取得をめざす「キャリアアップのための日本語講座」などの取組みは、めざす地域社会の実現を見据えた研鑽と実践の積み重ねです。

振り返りますと、定期的に行う活動はもとより、TOPIA委託事業「サマースクール」をはじめ、日本語教育の専門家を招いて開催するセミナーやワークショップ、外国の人たちと意見交換をする座談会やパネルディスカッション、日本文化を学び体験する講座など、数えきれないほど多くの機会にTOPIAのご尽力をいただき、研鑽と交流、発信を積み重ねることができました。心より深く感謝を申し上げます。

人口減少社会において、外国の人たちの活躍の場は今後ますます広がり多様化していくでしょう。私たちはそのことを視野に入れ、これからもTOPIAをはじめ関係機関・団体の皆様とのつながりの中で日本語教育の可能性に挑戦していくことができたと願っています。今後ともご指導ご鞭撻くださいますようよろしくお願い申し上げます。



JICA開発教育支援事業

～地域みなさんと、世界について学びます～



JICAでは、(1) 日本社会に対する開発途上国に関する「知見の還元」、(2) 自分に何ができるかを「考える機会の提供」、および(3) 地域での開発教育推進のための「橋渡し役」の3点に重点を置き、国際理解教育／開発教育の支援を実施しています。

JICA国際協力出前講座

開発途上国の実情を知り、国際協力の必要性を理解していたくため、青年海外協力隊・シニア海外ボランティアのOB/OG、JICA専門家経験者、JICA職員を講師として派遣し、その経験などについて講演します。国際交流ワークショップや異文化理解講座なども実施しています。JICAは世界88カ国にボランティアの派遣実績があります。普段、交流機会の少ない地域に2年間滞在、活動していた元ボランティアや海外からの研修員が現地の食事・踊り・歌などの生活・文化紹介やボランティアの活動体験談など、ご希望に応じて出前講座を行います。講座内容・日時等は要相談。



ナイジェリアからの研修員と一緒に料理を作って、アフリカ文化について学びました。

教師海外研修

国際理解や開発教育に熱心に取り組んでいる小学校・中学校・高校の先生方を対象に、開発途上国での国際協力活動の現場を視察していただく研修プログラムです。

国際理解教育セミナー

国際理解教育に関心のある教職員や学生、そして市民のみなさんを対象とした、国際理解や開発教育に関連するセミナーを開催します。

徳島大学公開講座で現地の民族衣装をまとった元青年海外協力隊員がキルギスについての講義を実施



高校生国際協力実体験プログラム

世界が抱える問題や国際協力について講義やワークショップなどを行い、考える機会を提供します。

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

中学生・高校生を対象に、開発途上国や国際協力、国際理解をテーマとした「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」を実施します。(上位入賞者は海外研修旅行に派遣されます。)

問合せ

【JICA徳島デスク (TOPIA内) 上西】

電話：088-656-3303

メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp



「とくしま外国人支援ネットワーク会員」＊募集中＊

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめとする、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による 多言語電話相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

受付時間：平日 10:00～18:00

T E L : 088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合がありますので、ご了承ください。



異文化のことについて学び、心の国際交流をしてみませんか？留学生たちにとって、ホストファミリーと時間を過ごすことは、日本の生活や文化を肌で感じる貴重な機会となっております。詳しくは当協会までお問い合わせ下さい。申込書は当協会のホームページ（とくしま国際戦略センター）の「各種申請・会員（ボランティア）募集」からダウンロードできます。

問合せ：公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp> Email: topia@topia.ne.jp

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快地に多文化交流＆異文化理解！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

在住外国人の方対象の「防災出前講座」をご活用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフの巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。＊申込は当協会まで。



防災出前講座の様子



TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度